

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	開発途上国における在職職業訓練指導員の能力向上事業		担当部局庁	職業能力開発局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	海外協力課外国人研修推進室	外国人研修推進室長 塚本 勝利			
会計区分	一般会計		政策・施策名	X-1-2 二国間等の国際協力を推進し、連携を強化すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際協力の一環として、開発途上国における工業化の進展等に伴う技能労働者不足に対処するため、職業訓練体制を充実させようとする開発途上国から在職職業訓練指導員を受け入れ、職業訓練指導員に対する能力向上研修を行うことによって、当該国の人づくりに貢献する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	開発途上国における現職の職業訓練指導員を受け入れ、4か月の日本語教育、専門的訓練施設において1年間、高度で専門的な技能、指導技法、キャリア・コンサルティング技法、職業訓練計画の立案能力等の技能及び知識を付与し、研修生が母国で他の職業訓練指導員を指導するなど、当該国において中核的な役割を果たすことのできる高度で専門的な技能及び知識等を修得させる。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	/	21	50	
		補正予算	/	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
		計	/	/	/	21	50	
	執行額	/	/	/	/	/		
執行率(%)	/	/	/	/	/			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(26年度)	
	研修生の帰国後の母国における職業訓練指導員の指導等中核的な役割を担う職務に従事する割合(25年度及び26年度の2ヶ年計画により実施)		成果実績	%	/	/	/	75%
			達成度	%	/	/	/	/
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	研修生在籍者数		活動実績(当初見込み)	名	/	/	/	(8)
単位当たりコスト	2,589,750(円/研修生見込み数)		算出根拠	平成25年度当初予算:20,718,000円/平成25年度研修生見込み数:8名(全体のコストを研修生数で割ることにより、研修生1人あたりのコストを算出)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	(目)政府開発援助外国人留学生受入事業費等委託費	21	50	平成26年度からは1年目と2年目の研修生が同時に在籍することになるため、在籍者数が増加することに伴う増額				
計	21	50						

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、国際協力の一環として開発途上国の人づくりに貢献するものであり、また、進出日系企業への優秀な人材の供給など日本の利益につながるものであることから、政府開発援助により国が実施する必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、ODAによる開発途上国への国際協力であり、国で実施すべき事業である。			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	政策目的(成果目標)は、研修生の母国での職業訓練指導員の指導等中核的な役割を担う職務への従事であり、その達成手段としては明確である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検結果	事業の目的(職業訓練体制を充実させようとする開発途上国より現職の職業訓練指導員を受け入れ、高度で専門的な技術及び知識の付与による母国での中核的な役割を担う人材の育成)を達成すべく、研修生の帰国後の母国における中核的な役割を担うよう、研修生への動機付けなどを徹底する。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効果的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省

21百万円

国際協力の一環として、開発途上国における工業化の進展等に伴う技能労働者不足に対処するため、職業訓練体制を充実させようとする開発途上国から在職職業訓練指導員を受け入れ、職業訓練指導員に対する能力向上研修を行うことによって、当該国の人づくりに貢献する。



【企画競争・委託】

A: 一般財団法人国際協力センター

21百万円

開発途上国における現職の職業訓練指導員を受け入れ、4か月の日本語教育、専門的訓練施設において1年間、高度で専門的な技能、指導技法、キャリア・コンサルティング技法、職業訓練計画の立案能力等の技能及び知識を付与し、研修生が母国で他の職業訓練指導員を指導するなど、当該国において中核的な役割を果たすことのできる高度で専門的な技能及び知識等を修得させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.一般財団法人日本国際研修センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
業務費	募集選考、研修、生活手当	17			
人件費	総括主任、コーディネーター	3			
消費税		1			
計		21	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人国際研修センター	専門的施設における職業訓練指導員に対する能力向上研修	21	企画競争 (随意契約)	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					